

神奈川県立座間支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

審議会等名称	令和5年度 神奈川県立座間支援学校 第1回学校運営協議会	
開催日時	令和5年6月20日(火) 9:45~11:50	
開催場所	座間支援学校 南棟2階 会議室	
出席者	学校運営協議会委員9名 学校職員10名	
次回開催予定	令和5年10月4日(水) 9:45~11:30	
問い合わせ先	座間支援学校 副校長 横田寿光 電話 046-255-2253 FAX 046-252-5379	
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由
審議(会議)経過 【学校運営協議会】	<p>・学校長挨拶</p> <p>・委員委嘱</p> <p>・委員および学校職員自己紹介</p> <p>・本日の流れ説明 事務局</p> <p>・学校運営協議会について説明 事務局</p> <p>座間支援学校が目指している①自立と社会参加をはぐくむ教育、居住地域の中で生きていく力の育成と②共生(インクルーシブな)社会の実現、ともに生きていく社会作りへの発信を参画の委員の皆様と共有し、一緒に熟議を重ねることで協働して実現したい。</p> <p>< 質問 ></p> <p>委員:「座間支援学校のコミュニティとは」とあるが、具体的には?</p> <p>学校:在学中のみならず、卒業後に生活するであろう様々な場がコミュニティと考えている。</p> <p>委員:子どもたちの自立と社会参加にかかわるすべてということか。</p> <p>学校:そうである。</p> <p>委員:「インクルーシブ」を座間支援はどのようにとらえているか。</p> <p>学校:校長の学校教育目標の説明でお話します。</p> <p>委員:防災部会、切れ目ない支援部会もう開かれているようだが、組織図と齟齬があるのでは?</p> <p>学校:当初は学校運営協議会を先に行う計画となっていたが、スケジュール調整の関係で、順番が前後してしまった。ご理解いただきたい。</p> <p>委員:二つの部会メンバーと学校運営協議会メンバーが違う。どのように連携していくのか。</p> <p>学校:本校では、部会での協議内容を運営協議会で説明・共有する形で運営してきた。今後もそのようにしたい。</p> <p>< 協議 ></p> <p>① 会長、副会長について 承認</p> <p>② 学校運営(座間支援学校の目指すもの)について</p> <p>・令和5年学校教育目標及びグランドデザインについて(校長より)</p> <p>令和5年度は4年間の最後の年。総括の年である。本来は学校運営協議会の中で協議し決定していくべきであるが、学校は4月より始まっている。このように考え動いていることをご理解いただきたい。</p> <p>○一人ひとりの心身の発達、障害の状態及び特性に応じた、きめ細やかな教育を実践する。</p> <p>○自立と社会参加に必要な知識や技能を養う教育を実践する。</p> <p>この二点の目標については日々行っているところである。</p> <p>○「よりよく豊かに生きる」ことを支えるインクルーシブな共生社会の実現に寄与する。</p> <p>この三点目の目標については、具体的に校内での取り組み、校外への発信等について、少しずつ進めているところである。ベースに「インクルーシブな学校づくり」と据えている。</p> <p>「インクルーシブ」については、「全ての人(大人も子ども)の多様性が尊重され、誰もが大切にされ、成長できる。」ことと捉えている。学校の中をインクルーシブな環境に整えていき、児童生徒が卒業後に、インクルーシブな社会作りへ寄与できる人に育ってほしいと考えている。</p> <p>座間支援学校を地域の方にも「私たちの学校」と思ってもらいたい。</p> <p>「特別支援学校の使命」は、自分たちの取り組みを発信して、地域のインクルーシブな社会づくりを進めていくことだと考えている。</p>	

<協議・意見交換>

委員：目標を理解するのに大変だなと感じた。我が子は理解に時間がかかる。どう教えたらいいのか毎日葛藤している。学校教育目標を大きく掲げても、どのように実行できるのか大変なのではないかと感じた。

委員：インクルーシブという言葉は、必ずしも保護者にとっては安心してとらえられない場合もある。自然にみんなが目指していけると良い。時間がかかるだろうが。

委員：児童生徒と接する機会は多くない。地域、社会に発信して認知してもらうのは大変なことかなと思う。どのように広がりを作っていくのが大事かなと思う。

委員：「多様性が尊重される」という視点、大事な視点だなと思った。

委員：ポリシーから提示すると教員の受け入れが難しい。どんな配慮をしているか、ユニバーサルな視点について提案をすると、高校の教員にはわかりやすい。フロントゼロの取り組みは浸透してきた。高校の生徒には、いろいろな人がいる視点を持って卒業し、インクルーシブな社会づくりに貢献してほしいと思っている。座間支援学校には、インクルーシブな姿を体現してほしい。

委員：知ることから始めることが大事。兄弟児は、障害についてよく理解している。自分自身が本当に知ったのは、学校に入って学んでから。「インクルーシブ」を本当に目指していくために、3校種が隣接しているこの立地を生かしていくと良いのではないかな。アメリカは同じ立地の中に特別なニーズのある子どもが支援を受けて学んでいる。お互いが近くで知る機会があり、必要な支援がずっと出てくる。インクルーシブな社会づくりにはお互いが育っていくが必要だと思う。障害のある当事者の自己肯定感を育てることも大事。動けないと言っても本当は動けることもある。相互理解を育て共に動いていく世の中になるといいなと思っている。座間支援学校と共にできると良いなと思っている。

委員：皆さんが引っ掛かったのは「インクルーシブ」という言葉。どう議論し、どう取り組んでいくのか、大きいエポックだなと感じた。それを受け、学部・分掌がどのように取り組んでいくのか、この後の説明を聞いてまた考えたい。

・令和5年度各学部、分教室、各分掌の取り組みについて（学校より、プレゼン資料を基に説明）

<協議・意見交換>

学校：研修会等の取り組みを座間支援学校から提案させていただいているので、近隣校からもリクエストをいただけると嬉しい。

学校：作業学習での地域との協働のため、具体的な情報をいただけると嬉しい。

学校：先日小学校と田植え体験を行った。貴重な経験だった。交流を継続したい。

学校：頼まれる（頼りにされる）経験を積ませてあげたい

委員：一人ひとりの実態が分かるように説明いただき、どんな活動を希望されるのか具体的に要望を出してもらえると良い。具体的に何を望んでいるのか、達成図などがあると良い。

委員：年3回の運営協議会の中で、要望をクリアするのは難しいだろう。窓口を決めて担当間で取り組んではどうか。

学校：ICT機器の活用について、高等学校、小学校の取り組みを参考・共有したい。

学校：高等学校との交流に分教室の生徒も参加したい。

学校：職業体験学習の職場先、受注作業の発注に協力いただきたい。

委員：地域として何ができるのか。なかなか思い浮かばない。新たなステージとして、アクションがあれば一緒にやっていきたい。一人ひとりに合わせた支援を行われる姿勢に、ただただ敬意を表したい。

委員：防災訓練、地域の清掃など、一緒にやれること、この場で共有してはどうか。

委員：日常的な学校間交流を継続したい。先日の田植え交流では、「支援学校の友達が来るよ」と子どもたちが楽しみにしていた。初めての交流だったので、どの程度できるのか、流れをどうするか、見えなかった。やってみてわかることで分かってくることがある。これを一步として、継続して交流を行いたい。

委員：役割分担やつながりの持ち方が見えるような進行の仕方に参考になった。この場に参加したので、学校が考えていること、地域とどのように関わろうとしているのか知ることができた。他の保護者は知ることができない。保護者の方々が、「学校はそんな風に考えてくれているんだ。」と感じてくれるような工夫をどうしたらいいのか考えた。保護者自身が動いていけたらいいと感じた。

委員：PTA だよりも、運営協議会について載せたらどうか。ホームページには載せているはず。すぐにできることはやったほうが良い。

委員：アセスメントについて紹介があったが、児童生徒を知っていく過程をていねいに取り組み、強みを発見していく、見える化、標準化していく体制作りを見習っていきたい。以前の所属で日中活動に関わっていた。利用者が地域に貢献するために何ができるか考え、保育園で演奏会をさせてもらったり、町工場に入って作業を一緒にさせてもらったりした。活動の場を地域に置くこと

	<p>で、地域のインクルーシブを進める一歩となると感じた。誰もがつながりやすい場づくりをサポートしてくれるサポーターを増やしていくと良いのではないだろうか。先生方だけでやるのは大変。サポーターを増やすことで、広がり作ることができるはず。</p> <p>委員：いい提案ですね！学校運営協議会の人をどう使うのかがポイント。お互いに使い合って子どもを育てていけると良い。</p> <p>委員：JAというのはすごい資源だと思う。学校との協働についてどうか。</p> <p>委員：連携し一緒に活動を行っている。広報誌に情報発信させてもらっている。こんなこと協力いただけませんかと投げかけてもらえるとやりやすい。JA店舗は小さいので、受け入れ人数に限りがある。</p> <p>委員：言ってもらえたら検討できる、幅を広げられるということですね。また、特別支援学校の生徒が職場体験することが、JAが障害のある人を受け入れるための勉強になると思う。</p> <p>委員：専門職が学校に配置されているのは神奈川県为先駆的な取り組み。移動、スイッチのことなど、ちょっとしたことでできることが広がる。ICT機器・デバイスが広がっている。海外のコミュニティとつながっているので、日本の取組以外でも情報提供はたくさんできる。声をかけてくれれば、また地域としては、自宅が和菓子屋。もうすぐ100年。一緒に取り組めたらいい。使って欲しい。</p> <p>委員：使ってくださいと言ってもらえるのは素晴らしい。地域の資源を最初は使わせてもらって、積み重ねながら一緒に子どもを育てていく。学校運営協議会をそのように使えるといい。</p> <p>③ 学校評価部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度学校評価報告書（目標設定）について <p>※検討を行う十分な時間が無くなったため、別日で開催とするか資料送付か検討し、後日委員にお知らせすることとした。</p> <p>④ その他</p> <p>ご意見：学校評価部会ができなかったのが、流れを工夫してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡 <p>学校：本日もご意見をいただいた内容で、具体的に動いたことを中間評価・最終評価で報告させていただきたい。</p> <p style="padding-left: 40px;">＜ 今後の予定 ＞</p> <p style="padding-left: 80px;">2回目 10月4日（水）</p> <p style="padding-left: 80px;">3回目 3月1日（金）</p>
<p>会議資料</p>	<p>第1回学校運営協議会次第 令和2年度～令和5年度学校教育計画 令和5年度ランドデザイン 令和4年度学校評価 令和5年度学校評価報告書（目標設定） 令和5年度第1回学校運営協議会プレゼン資料 令和5年度学校案内</p>